

おおくら 議会だより



野辺で無邪気に戯れる子ら
(滝の沢の休耕田にて)

もくじ

巻頭特集	2~3P
6月定例会	4P
一般質問	5~9P
議会活動報告	10~11P
そうだったの！村議会	12P

風水にふれる里

第 **116** 号

2018.初夏

発行／
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集／議会広報調査特別委員会 年4回発行
印刷／共栄印刷株式会社

「あの時」～そして今～これから

大蔵村の公共の施設運営について、当時を振り返りながら、これからのことを考えていきます。
「第四回目は」

「大蔵村の公共施設その二」 学校・生涯学習施設

あの時

校舎の建築は、学校の統廃合と密接な関係があります。

現大蔵中学校が建築された昭和47年は南山中学校が大蔵中学校に統合された年。平成20年は村1小学校1中学校に統合された年。それに合わせるように旧学校の体育館は耐震化が図られ、スポーツ団体が活用されています。旧校舎はほとんど取り壊され別の活用へ。

そして今

今年、肘折小中学校が解体され、地域の防災拠点として再整備されます。

平成18年から教育委員会の社会教育の拠点として運営している赤松生涯学習センター、平成22年に地域の活動拠点として整備された南山交流センター、平成26年に防災拠点保育所として整備された沼の台地区と同様に学校がなくなった地区の再整備は終了となります。



大蔵中学校



大蔵小学校



赤松生涯学習センター

名称		建築年度		面積(㎡)	構造	耐震化
大蔵中学校	校舎	昭和47年	46歳	2277	鉄筋コンクリート	平成20年済
//	特別教室	平成20年	10歳	733	//	
//	体育館	昭和48年	45歳	936	//	平成20年済
//	第2体育館	平成22年	8歳	690	//	
大蔵小学校	校舎	昭和62年	31歳	2994	//	
//	体育館	昭和62年	31歳	1135	//	
赤松生涯学習センター	旧校舎	昭和55年	38歳	877	鉄筋コンクリート	未実施
//	新校舎	平成12年	18歳	1482	//	
//	体育館	平成12年	18歳	631	//	
沼の台体育館		昭和51年	42歳	785	//	平成24年済
肘折生涯学習センター	校舎	昭和53年	40歳	2350	//	今年除却
//	体育館	昭和53年	40歳	865	//	平成29年済
南山交流センター		平成22年	8歳	310	木造	



★鉄筋コンクリート造の耐用年数は50年。それ以降補助制度有り。
★基本的に、昭和56年以前の建物は現在の耐震化基準を見たしていない。

これから

村は現在、役場庁舎の整備を計画中で今年中には建築設計画を村民に公表したいとしています。耐震基準を満たしていない中央公民館は、未だ整備の具体的計画がありません。

大蔵中学校の校舎は、築46年と古く、平成18年の統合に併せて耐震化やリフレッシュ工事を行了しましたが、基本的に古い構造はそのままなので、維持修繕で何とか持たせている状態と言えます。

役場庁舎の整備に続いて次々と考えていかなければならない施設があるので、ただ単に「古くなったところから整備を」ではなく、村の教育施設については、これからの教育体制はもちろん、保育体制も含めて長期的な計画に合わせて整備を考えなければなりません。今必要なのは「ひとつひとつ」でなく、各施設の機能、必要性を合わせた全体的な計画ですね。



南山交流センター



沼の台体育館



肘折体育館



ここが知りたい

村政を問う

一般質問
6月
定例議会



一般質問とは？

村政全般に対し議員が質問し、意見を述べ村政をただししていくもので、大蔵村では1議員の持ち時間が45分です。

5月に村議会と肘折旅館組合が「意見交換」を行った一場面

4議員が一般質問

6P 長南 正一 議員

○大型プロジェクトに挑む村長の決意を伺う
(農産物加工場、升玉水力発電、新役場庁舎など…)

8P 早坂 民奈 議員

○「若者ミーティング」のバックアップで村を元気に！自由に使える予算をつけよ！

7P 佐藤 雅之 議員

○肘折地区防災拠点施設の役割と機能を問う。
地域の防災は？

9P 矢口 智 議員

○三つの視点で村を元気に！



6月
定例会

国保税「資産割」を廃止、 一定の減税効果！

条例等の改正

- ★大蔵村国民健康保険条例の一部を改正（課税対象であった「資産割」の廃止）
- ★字区域の変更（肘折アメダスがある地域の土地、三筆の小字を従来の「朝日台」から「肘折温泉」に改めた）
- ★大蔵村辺地に係る総合整備計画の変更（沼の台辺地、肘折辺地の公共的施設の整備を促すため事業内容を一部変更した）



補正予算

●大蔵村平成三十年度一般会計補正予算の他、四特別会計補正予算を可決



本会議中

6月定例議会が、7日から8日まで開催され、30年度補正予算5件を含む、8議案が審議され、可決成立。
それに先立つ一般質問では、4人の議員が村当局の考えをただし、活発な議論をおこないました。

平成30年度補正予算

	補正額	総額	主な補正内容
① 一般会計	2100万円	37億5100万円	自殺防止計画策定業務委託料の増
② 簡易水道	▲203万円	1億9896万円	人事異動に伴う職員給与の変更
③ 下水道	53万円	1億7773万円	下水道管理費の増
④ 診療所	87万円	2億2797万円	診療所床はく離清掃等委託費の追加
⑤ 介護保険	26万円	4億3596万円	地域包括支援システム委託料の増





長南 正一 議員

大型プロジェクトに臨む 村長の決意を 目標達成のため四選を目指す

問1 今年度は農産加工所の開設、升玉水力発電所の着工、住宅団地の造成、肘折小中学校の校舎解体、更に役場庁舎の新築移転が現状補強等、多くの課題がある。それに加え20年には全国棚田サミットが開催される。今後複数年度に渡る事業の取り組みを踏まえ、来年春に実施される統一選挙にあたり、村長の心境を伺いたい。

答1 農産加工施設は(株)三和食品の協力のもと本格的な操業が始まり、今後農家の協力を頂きながら大蔵ブランドの確立を図っていく。升玉水力発電所は平成32年の完成を目指し事業が進められている。又、子育て支援住宅を退去した後や他地域からの転居の受け皿として整備を進めている分譲住宅団地も、今年度上下水道を整備し、来年度から分譲していく。旧肘折小中学校の校舎を取り壊し、今後は

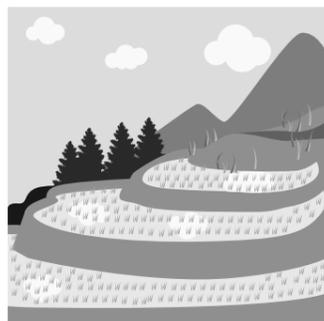


防災拠点施設としていく。地域の方々に安心を感じられる施設にしていきたいと思います。役場庁舎については、鋭意検討してゆく。全国棚田サミットは四ヶ村の棚田を全国に発信し、棚田の在り方活用策を探る全国規模の意見交換の場として32年に開催する。さらに、小規模事業者持続化補助金や山間地域農業機械導入支援事業補助金を新規事業として予算化し所得向上を支援していく。「生活の質的向上・真の豊かさを求める」という村政運営での目標を達成するため、四選を目指す覚悟を固めた。

問2 棚田サミットについての具体的な内容は？

答2 地元だけではなく、村全体で取り組みたい。施設全体を活用する計画で使い、委員会の立ち上げを考えている。

今までは観光的な大会が多かったが、お祭り騒ぎではなく、棚田全体の価値を上げる大会にしたい。



水力発電事業の鍬入れ儀式



佐藤 雅之 議員

防災拠点施設の役割と機能は？ 村長 多目的機能を備えた緊急時の拠点に

問1 肘折生涯学習センターが取り壊され旧体育館も肘折地区防災拠点施設として生まれ変わる。どのような機能が備わるのか？

答1 防災拠点施設には、防災対策室、救護室、備蓄倉庫、救援物資仕分け室、臨時の炊き出しを想定したスペースを設けるなど、文字通り緊急時の拠点施設となる。体育館も耐震対策と合わせ屋根の改修を実施している。

問2 ドクターヘリや防災ヘリの離発着のためのヘリポートの整備はできないのか？

答2 航空法でいうヘリポートは、当該施設のグラウンドでは設置基準を満たすことができない。ただ、緊急時であれば(当該グラウンドを)活用できると考えている。



問3 住民や宿泊客の避難誘導は誰がどのようにするのか？

答3 防災無線や電話で役場が避難指示等を発する。それを受け、地元役場職員、地元消防団、地域防災組織などの協力を得る。宿泊客の誘導は原則旅館で行ってもらう。防災拠点施設の鍵は地元の住民に預けておく。

「時避難所」と位置づけ、村として早め早めの判断をおこない村民の安全を守ってゆく。



問5 肘折地区用の「大蔵村ハザードマップ」にも最上川の洪水予想だけで、銅山川や苦水川の予測が示されていないが、調査すべきでは？

答5 両河川は、県管理の河川となっている。今後県に強く要望してゆく。



すでに活用している「沼の台防災センター」



早坂 民奈 議員

「若者ミーティング」のバックアップで村を元気に 村長 地域活性化事業の活用や 村全体で支援

していない。だが、行いたい事業について計画書などが出された場合その都度相談に乗り、地域活性化事業の活用をはじめ、村全体で支援していく方針である。現在「地域おこし協力隊」はいないが、若者に限らず、自主的に村内外と交流を広め、農業や観光などそれぞれの仕事の分野や地区で活動して行くことに、今後も引き続き、出来る限りの支援を行いたい。

問4 バックアップの具体的な内容は。
答4 若い人との話し合いを持つべく、積極的に日程を合わせている。いろんな意見を参考にしながら、これからも若い人たちを応援していく。

問1 「若者ミーティング」という組織が、毎年いろんな企画研修を行っているが、若者たちの意見やアイデアが前向きで、村を良くしたいという思いが強く伝わってくる。もっと活動を活発にして行くためにも、予算を明文化し応援できないか。地域おこし協力隊は国の施策であり、当村にはない。しかし、「若者ミーティング」がその役を担っているのではないか。そこ

で、村独自の施策として、多方面からのバックアップをして行けないものか。
答1 「総合戦略」の策定過程の中で、未来の担い手である若者の意見を反映させるために作ったプロジェクトチームが「若者ミーティング」である。メンバーは多職種に渡り、自主的に活動を行い、東北芸工大と連携しながら事業展開している。総合戦略施策時には予算化していたが、現在は

問2 自由に使える予算があれば、幅広い活動ができると思われるかどうか
答2 予算在りきでは無く、村で応援できることをしていく。

問3 常設の事務所を要望しているとも聞いているが。
答3 村の公共施設を使用してと提案している。



若者ミーティング



矢口 智 議員

三つの視点 村長 次世代を託す若者に力を

問1 今後の政策の方向性について、三つの分野に関して質問したい。

毎日生活してゆく中で、元気を与えてくれる目標、わくわく浮き浮きの楽しい話題をぜひ発信して欲しい。

一つ目は、「農業」
近年充実度を増すハウス園芸、永続的に安定した経営が図られるよう、将来に向けて独自の調査研究が必要では。

二つ目は、「子育て」

各年代に子育て支援を講じているが、「次の世代を託す若者」を育てる思いが住民に伝わっているか、工夫を加えることが必要では。

三つ目は、「目標」

答1 **一つ目** 「農業」農協合併により、県内上位の農協が誕生。合併のメリットは多目的な販売形態の構築による有利販売の可能、肥料農業、農機具、燃料等の大量仕入れによる大幅な低コスト化。また、村では「次世代型施設運営」の拠点として、トマトの溶液栽培による、周年栽培法の実証実験が県と連携してスタ

ートした。市場をいらんだ新しい周年農業の確立を目指す。

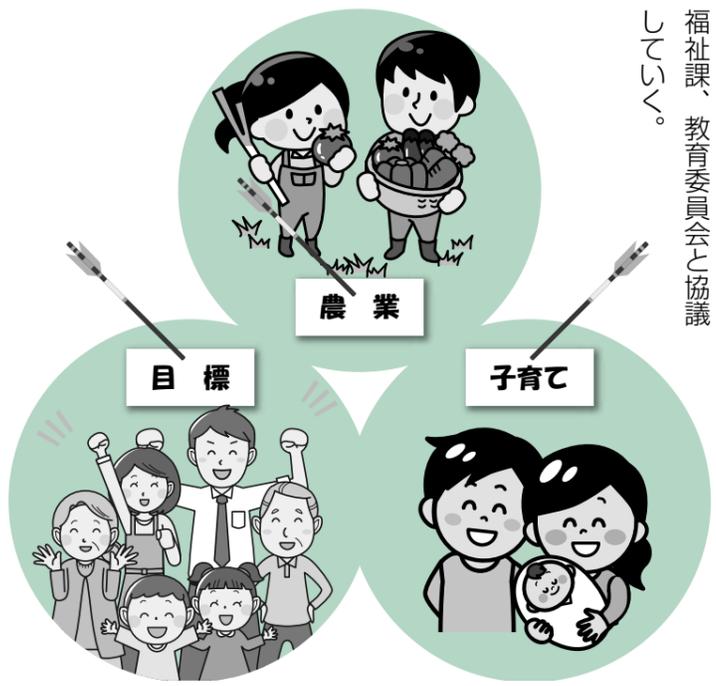
二つ目 「子育て」施策の趣旨を、全て理解されてはいないが、「ともに育む精神」が次世代の担い手となる子ども達に繋がるよう、効果的に実績を積み上げて行く。お知らせの情報提供は対象者が限定されるものや期限のあるものは個々に知らせている。紙媒体の他に村ホームページからの観覧の活用を。

三つ目 「目標」楽しい話題の発信は、日々の生活と同様に村政運営にも目標が大事である。第3時総合計画の基本目標を、第4時総合計画に継承しつつ、特に、村民の声を反映し、今まで以上に村民が元気になるよう邁進していく。

問2 産物が過剰になった場合想定される価格暴落への対処方は。
答2 需要と供給のバランスを見極めるとともに、食味の向上に向けて努力していく。

問3 「子育て施策」について子どもの成長に合わせた一覧表にできないか。
答3 難しいが構想を健康福祉課、教育委員会と協議していく。

問4 わくわく感の話が若い人から聞こえてこない。村外のイベントは目に留まるが村内は目立たない。
答4 紙媒体での表現方法を考えていく。





議会活動報告



東京大蔵会の総会へ

平成30年5月20日(日) / 東京都霞が関ビル

東京大蔵会の総会には例年議長だけの出席が多いのですが、今年は議員全員で参加しました。場所は国会議事堂や首相官邸に近い、官庁街の一角の高層ビルの最上階。遠く富士山や江戸湾が見渡せる、まさに絶景の素晴らしい空間にびっくり。

今年、会の発足から45年目となることで、菅野秀雄会長を中心に役員の方々ははじめ会員の参加者が90名、大蔵からの参加は村長を先頭に議員団、観光協会、商工会の役員、それに、ふるさと大蔵の新鮮な山菜をたくさん持ち込み、東京在住者を喜ばせてくれる大蔵村特産加工組合のメンバー。コメのプレゼントにJA職員も。総勢120余名での和やかで楽しい雰囲気での一日となりました。

間と久しぶりに会えた喜びが伝わり熱いものを感じました。昭和20年代から30年代にかけて、実に多くの村民が大会東京に挑戦し、大変な苦勞をしながら日本の高度成長を支え、そして今、2世3世の家族と幸せに暮らしている皆さんの素晴らしい笑顔に圧倒される思いでした。良い顔していました。素晴らしい。

近年、都会へ挑戦される方も減り、高齢化もあり、東京大蔵会の会員も総会への参加者も減少傾向にあることですが、それも時の流れで致し方ないこと。それよりも、久しぶりに語り合い笑い合うひと時を、いつまでも大切に、楽しみにして欲しいですね。温かく迎えて下さった会員の皆さんに感謝します。



東京中央要望

平成30年6月26日(火) ~ 27日(水)

「東京中央要望」は、毎年一回、村長、議長と議員団で実行している重要な活動です。

何故東京へ?と思われるかもしれませんが、中央要望は国会議員に対して村の重要な要望事業に理解と支援を訴えるためのもの。国の後押しがなければ事業は進みません。そして、国会議員は常に国会議事堂を中心に東京が主戦場。大事なお願いは、こちらから出向いて説明するのが筋と考えています。その上、国会議員の手配により国土交通省の担当者にも要望を訴えることが出来ました。



「日本一積雪の多い村」を挨拶言葉に精一杯訴えてきました。私たちのさまざまな課題は尽きませんが、継続して行動することで、必ず前進すると信じています。



議会主催の懇談会2回目開催しました!

開催日：平成30年5月23日
相手団体：肘折温泉旅館組合・商店組合関係者
課題：これまでの取組とこれから

大雪の2月に肘折で開催してから、2回目となる懇談会を行いました。肘折温泉旅館組合はチームワークが良く、青年部を中心に客層調査や温泉効能アンケート調査の実施を行うなど、来客者の意向や要望を聞き取り、次の展開に活かそうと努力しています。特に来客者の居住地、泊数、宿泊形態、宿泊数などを詳細に把握し、来客者への対応に気を配っていることや、肘折温泉本来の温泉効能の高さを改めて認識でき、とても興味深い話し合いだったと感じています。

課題と目標

- ☆客層の大幅な移り変わり 県外のお客が県内の客を上回る 湯治客が減り、一般客が6割に 団体客が減り、一人旅が3割にも インターネット予約の客が増える
- ☆温泉プラスアルファ 周辺施設の充実連携（四ヶ村の棚田等）
- ☆旅館の就業環境 待遇改善に努力（定休日の設定も）



「肘折温泉があって、私たちの暮らしが村がある」と言える大切な存在。課題は尽きないところですが、共有することで見えてくることも多いもの。今後も真剣に考えていきたいと思っています。ありがとうございました。

気軽に声を掛け合って話し合い、課題解決を図りましょう。

懇談会希望団体募集中!



そうだったの！ 村議会



村議会の紹介コーナー

No.12

議会改選で定数割れ？



【山形県の町村議会議員選挙で、定数割れとなりました。…】

大蔵村は、平成19年の改選時に4人減らして10人の議員定数にしてから11年、来年の4月に改選を控えています。村では今まで無投票当選も定数割れの経験ありません。しかし、全国的に立候補者数が減る傾向で無投票当選が増えていきます。そして、思いもかけず定数割れの事態になる町が話題になるとは…とても複雑な心境です。

公選法によれば、定数の6分の1以上不足していると、欠員を補充する再選挙の必要があるとのこと。

ちなみに大蔵村であれば

10人の6分の1以上不足とすれば…

出馬が8人以下で適用となり、再選挙の必要があり…

9人の出馬の場合は無投票当選となります。



町村議会関係者によれば、議員の仕事は、会議出席に限らず議案や村の課題の調査・研究、住民との情報収集など広範多岐にわたり増大しているが、住民からの評価は下がる一方とのこと。ちなみに、「編集長矢口の年間出席会議数は2年前より半月ほど増えて100回を超えているかな」でも……

「働けど働けど、我が評価は下がる一方…」の心境？ トホホ

今、議会では来年の改選に向けて様々な角度から研究を行っています。議員定数、報酬、役割や制度の見直し等、議論は尽きないところですが秋には一定の結論を出さなければと考えています。

村民の皆さんのご意見を。

後書き

たわむれ

朝4時、畑仕事に出かける。少し早いが楽しみがある。ハスの池を通る時、必ず青鷺がいる。車が近くに行くとなぎとらしく飛び立ち、円を描いて逃げた振りをする。通り過ぎるのを待つて、また同じ所に舞い降りる。まるで詐欺師の様だ。

畑に着くとそこには鶯が待っている。藪の中でホーホケキョと気持ちよく鳴いている。静かに車を降りて、口笛で鳴き真似して会話をする。不思議なもので鶯もそれに答える。音を長くすれば長く、短くすれば短く。それでもやはり偽者はばれる。すると今度はけたたましく鳴いて縄張りを主張する。こつちもまた負けずに主張しても決して譲らない。藪の中で姿も見せず挑戦してくる。卑怯なやり方だ。人間の世界にはよくある事だが、鳥にもあったとは？仕方なしに負けを認める。

次に畑に建てた棒のてっぺんにホウシロがいる。思い切り空を見上げてアゴが外れる位大きく口を開け、必死に鳴く。こつちも真似て鳴き返すと、首をかしげて様子を伺う。この仕草が何とも愛くるしい。これだけでも百姓の匂いを嗅いだ気分になり、仕事がかどり朝飯も旨い。

この重苦しい世の中、たまには背負った荷をおろし、自分だけの世界に浸る事も結構楽しい、なんと言ってもタダだから。

皆さんも挑戦して見ませんか？

(佐藤 勝 記)

議会広報調査 特別委員会

- | | | | |
|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 佐藤 | 佐藤 | 早坂 | 矢口 |
| 雅之 | 勝奈 | 民奈 | 智 |